

# OS-0030 ライトユニット 説明書

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。この説明書、下記の注意書きなどをよくお読みの上、お楽しみください。

【はじめに】  
点灯化キットは、鉄道コレクションに、集電システム、ライトユニット、室内灯を組み込み、ヘッド・テールライト、室内灯を点灯させるためのキットです。  
本キットは大阪市交通局30系とその同型車に対応します。  
以下の車種に対応します。  
・大阪市交通局30系  
・北大阪急行7000形(2013年発売)  
・北大阪急行2000形(2014年発売)  
・北大阪急行8000形(2015年発売)  
(2007年発売の大阪市交通局30系[7000-8000形、四つ橋線]、大阪市交通局7000-8000形[谷町線・中央線]は、ライトの配置が少し異なるため対応しません。)  
本キットは、トレーラー車、動力ユニット付き車、どちらにも対応します。(チラツキ対策を施しています。)

**注意**

- ・この商品は15歳以上のお客様にお楽しみいただける商品です。
- ・機能上小さな部品が使われており、誤飲の危険がありますので、3歳未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ・機能上尖った部分があります。取り扱いには十分ご注意ください。
- ・加工の際の刃物や工具の取り扱いには十分ご注意ください。
- ・加工、組立の際に出たクズは、すぐに捨ててください。
- ・接着剤・塗料は、火気のない場所で、換気に注意してお使いください。
- ・車両は必ず直流(DC)12V以下で運転してください。交流(AC)は絶対に使用しないでください。
- ・ライト類は必ず動力車と編成を組んだ状態で点灯させてください。また、停止させたまま長時間点灯することはおやめください。
- ・脱線した場合、動力車やパワーユニットが発熱する恐れがありますので、直ちに電源を切り、復旧させてください。
- ・当キットのライトユニット・室内灯は、1両あたり合計最大約30mAの電流が流れます。電源の容量をご確認の上、お楽しみください。

【パッキングリスト】  
このキットには、以下の材料がセットされています。加工を始める前に不足がないかお確かめください。

【ライトユニット】  
・ライトユニット : 1個/セット



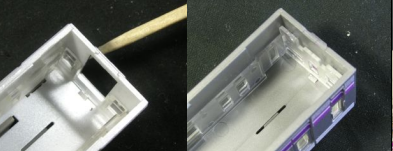
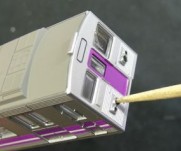
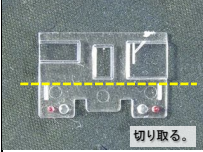
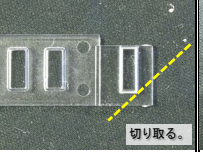

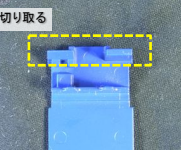






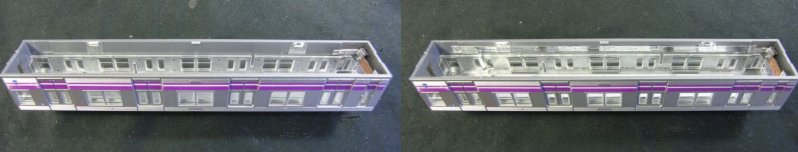
【その他】  
・説明書(本紙) : 1枚  
・導電性アルミテープ(15mm×約120mm) : 3枚/箱

※導電性アルミテープは、楊枝や綿棒などを使って、しわを伸ばすようにして、しっかりと張ってください。  
※導電性アルミテープは、導電性の接着剤が塗布されていますが、何度も貼り直していると導電性が失われていきます。接着剤の導電性を活用する箇所では、一度しっかり貼ってしまったアルミテープの再利用は避けてください。

【必要な工具】

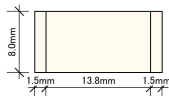


<ul style="list-style-type: none"> <li>・カッティングマット</li> <li>・ピンセット</li> <li>・ニッパ</li> <li>・プラスチックドライバー</li> <li>・両面テープ</li> <li>・木工ボンド</li> <li>・ポリエステルテープ(ニチバン「マイラップ」、セメダイン「ラビー」など)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カッターナイフ(デザインナイフが望ましい)</li> <li>・楊枝、綿棒など</li> <li>・ピンバイス(0.3mm、0.5mm、0.8mm、1.0mm)</li> <li>・精密ヤスリ(平、丸、半丸など)</li> <li>・ゴム系接着剤</li> <li>・プラモデル用接着剤</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直定規</li> <li>・塗装面を保護する柔らかい布</li> <li>・ポンチ(プッシュピンなどでも可)</li> <li>・サンドペーパー</li> <li>・マスキングテープ</li> <li>・瞬間接着剤</li> <li>・遮光用の塗料(黒または銀)</li> </ul>
--	--	--

## ●取り付け手順

1. 分解する				
1-1 床板を外す 	1-2 窓ガラスを外す 	1-3 前面パーツを外す 		
車体と床板の間を押し広げ、床板を外します。	この車種は、屋根を外すことは必須ではありません。屋根を外さない場合は、傷をつけないように、柔らかい布などで保護しながら作業してください。	北大阪急行2000型は、連結面の窓ガラスが別パーツとなっているので、まずこれを外します。楊枝などで外側から押し外します。	窓ガラスは、側窓、前面の順に外します。	前面パーツは、楊枝などを使って、外側から、左右のライトレンズを交互に押し外します。
2. 車体を加工する		3. 床板を加工する (トレーラー車の場合)		
2-1 前面透明パーツの加工 	2-2 側窓を加工する 			
前面透明パーツを、窓の下で切断します。ヘッド・テールライトは使用しないので保管します。	側窓前端を、乗務員扉の窓の下前の角に接する45度の線でも切ります。カッターで数度傷を付けてから折ります。	ライトユニットと干渉するので、床板端部の両側の突起を削り取ります。	シート前縁の運転台機器より前の部分(約2mm)をカットします。	
4. ライトユニットを取り付ける		5. 配線する		
4-1 前面窓ガラスをはめる 	4-2 ライトユニットをはめる 	5-1 側窓をはめる 	5-2 ライトユニットへの配線 	5-3 給電パッドの重ね貼り 
前面窓ガラスをはめます。固定が緩い場合は、両面テープで固定します。	ライトユニットをはめます。緩い場合は、両面テープなどで固定します。	外したときと逆の順序で、側窓をはめます。必要に応じて両面テープで固定します。	1.5mm×12mmのアルミテープで、側窓下からライトユニットの給電パッドまで配線します。※必ず1.5mm幅の細いテープを使用します。太いテープはかえって通電を悪化させます。	ライトユニットの給電パッドの通電の確実を期して、3.5mm×4.5mmのアルミテープを重ね貼りします。※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。
5-4 側窓下の凸部にアルミテープを貼る 		5-5 側窓下をアルミテープで結ぶ 		
床板との嵌合部の凸部に、5mm×5mmのアルミテープを貼ります。テープの先端が車体裾に接するように貼ります。車体の四隅の嵌合部に貼ります。		室内灯も取付ける場合は、この作業は室内灯の取付後に行ないます。3mm×105mmのアルミテープを使って、側窓下端に沿って、ライトユニットへの配線、前の嵌合部、後の嵌合部、室内灯の配線の4ヶ所を、一気に接続するように貼ります。※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。		



●乗務員室仕切りを取付ける(室内灯を取り付ける場合にお好みで)

0. パーツを作る	1 棧を取り付ける	2 仕切りを取り付ける
<p>乗務員室仕切り 型紙</p>  <p>0.5mmのプラ板でパーツを作ります。 (遮光に適した黒いプラ板を分売しています)</p>	 <p>乗務員室仕切りの棧を、乗務員室扉後部の壁の中央やや後よりに、両面テープで固定します。両面テープは、壁への接着面だけでなく、前側の切口までL字形に貼っておきます。</p>	 <p>乗務員室仕切りを、棧の前側に設置します。</p>

